

— 実践中国語作文問題集 —
日本文化用語解釈編

(模範解答例付)

国家試験・各種試験対策

- ◇日本文化を中国語で説明する問題集!!
- ◇通訳案内士試験の用語解釈問題対策の決定版!
- ◇見出し語約360項目、日本語索引付!!
- ◇日本語参考例文・模範解答例付で分かりやすい!

(日本) 現代中国語学院創立者

(中国) 遼寧大学漢語教学中心名誉教授

本 林 教 衡 主編著

現代中国語学院 出版部

※日本文化用語解釈編のサンプルです。

はじめに

この本は、中国語の全国通訳案内士試験（以下ガイド試験）で出題される“日本文化”に関する用語解釈などの受験対策用に編集したものです。“日本文化”の用語解釈問題は、中国語筆記試験では平成2年頃から毎年のように出題され、また2次の口述試験では“日本文化”に関する質問が必ず出題されています。

ガイド試験の特性上、“日本文化”などに関する知識は必要不可欠なものです。しかしながら、中国語学習者にとって“日本文化”に関する内容を中国語で説明することは、とても難しく易しいことではありません。

さらに近年は海外からの観光客が増加傾向にあり、中国語圏からの観光客も今後増えていくことが見込まれます。加えて、日中両国の交流が深まるにつれ、中国の方などに日本の文化に関して紹介する機会もますます増えていくことでしょう。

本書では、ガイド試験で出題された内容を中心に、日本の文化・風俗習慣・観光などに関連する358項目について、13のジャンルに分類し整理してあります。各項目は内容を理解しやすいよう日本語の参考例文を付け、模範解答例は暗記もしやすいように、なるべく分かりやすい中国語にまとめました。本書を有効に活用していただき、ガイド試験の合格や、中国語圏の方への日本理解の一助となることができれば編者にとってこの上ない喜びです。

この本が、中国語ガイド試験合格を目指す皆さんや、中国語学習者の皆さんのお役に立つことを心より願っております。

2018年 9月 編集者一同

この本の使用法について

この本は作文問題集ですが、日本語での説明文は中国語の対訳ではなく参考例文とし、必要に応じ複数の解答例を記しました。これは、日本語での説明と（中国人が）中国語で理解できる内容には異なる場合があったり、筆記と口述では表現方法を変えた方が良い場合もあるからです。また日本独特の文化や習慣などは大変奥深く、特定の条件下で説明する際には解答例の内容をさらに取捨選択・補足する必要があるかも知れません。

以下に本書の活用法について記しましたが、学習者は翻訳の細かい部分にこだわらず、内容を重視するようにして下さい。そしてこれらを参考として、各自の理想の勉強法や答え方を習得することが肝要です。

◎書いて覚えて暗誦

模範解答例などを、何度も紙に書いて覚えましょう。書く時は誤字などに注意して正しい中国漢字を書くことが大切です。また、暗記をする時には必ず声に出して暗誦しましょう。その際に発音や声調に注意することも忘れずに。“書いて覚えて暗誦”を繰り返し実践することが、中国語上達には最適な方法の一つです。

◎ポイントとキーワードを整理

“日本文化”に関して、例文・解答例を参考に、各項目毎に説明すべきポイントや中国語のキーワードを整理してまとめるのも良い方法です。これらを覚えていれば説明の際に役立ちます。項目の種類によって説明すべきポイントは変わりますが、「どんなもの・いつ・どこ・だれ・何のため」に注目すると良いでしょう。例えば『お歳暮』（平成19年出題）では「贈答品(風習)・年の暮れ・上司や恩師・感謝の意」などです。

“日本文化”に関する用語解釈では、説明の対象者を意識することも大切です。筆記試験・口述試験では当然ながら試験官ですので、試験官の望むような回答内容を考えるべきです。一般には“①日本文化を全く知らない人に分かりやすく伝える、②日本文化の良さを伝える”ということを心がければ必ずや良い回答ができるでしょう。（“百尺竿头，更进一步！”）

◆目次◆

〔1〕日本の地理・気候

『日本の地理』	2	『日本の冬』	5
『日本の気候』	2	『小春日和』	5
『日本の春』	3	『春一番』〈平18年〉	6
『日本の夏』	4	『梅雨』	6
『日本の秋』	4	『木枯らし』	7

〔2〕季節行事・祭祀

* 【春】（3～5月）

『ひな祭り』〈平27年〉	8	『鯉のぼり』	11
『お水取り』	8	『柏餅』	12
『桜前線』〈平26年〉	9	『茶摘み（茶つみ）』	12
『暑さ寒さも彼岸まで』	10	『潮干狩り』	13
『花見』	10	『母の日』〈平10年〉	13
『ゴールデンウィーク』	11		

* 【夏】（6～8月）

『夏祭り』〈平6年〉	14	『祇園祭』	17
『山開き』	14	『打ち水』〈平12年〉	17
『海開き』〈平12年〉	15	『盆（お盆）』	18
『中元（お中元）』〈平7年〉	15	『盆踊り』	18
『七夕』	16	『灯籠流し／精霊流し』	19
『花火（大会）』	16	『暑中見舞い』	20

* 【秋】（9～11月）

『月見』	21	『園遊会』	23
『七五三』〈昭60年〉	21	『菊人形』	24
『運動会』	22	『紅葉狩り』	25
『文化祭（学園祭）』	22		

* 【冬】（12～2月）

『忘年会』〈平6・平13年〉	26	『歳暮（お歳暮）』〈平19年〉	26
----------------	----	-----------------	----

※日本文化用語解釈編のサンプルです。

『柚子湯』〈平29年〉	27	『書き初め』〈昭60・平29年〉	36
『仕事納め／御用納め』	28	『出初め式（消防出初め式）』	36
『大掃除』	28	『歌会始』	37
『大晦日』	29	『新年会』	37
『年越そば』	30	『七草かゆ』	38
『年賀状』	30	『鏡開き』	38
『初詣』	31	『獅子舞』	39
『門松』	32	『成人の日』	39
『鏡餅』	32	『恵方巻き』	40
『初夢』〈平10年〉	33	『豆まき（節分）』	41
『お年玉』	33	『雪祭り』	41
『お節料理』	34	『雪吊り』	42
『雑煮』	34	『バレンタインデー』	43
『屠蘇』	35		

〔3〕日本人の信仰・精神

『神道』	44	日本の『墓参り』	56
『神社』	45	『仏壇』	56
『注連縄』	45	『地蔵』	57
『鳥居』	46	『七福神』	58
『手水舎』〈平29年〉	47	『座禅』	59
『賽銭（さいせん）』	48	『お宮参り（宮参り）』	59
『狛犬（こまいぬ）』	48	『百度参り（お百度参り）』	60
『神棚』	49	『お遍路』	61
『絵馬』	50	『鬼』	62
『おみくじ』〈平23年〉	50	『厄年』	62
『破魔矢』	51	『わび・さび（寂）』	63
『縁日』	52	『武士道』	63
『神輿（お神輿）』	52	『本音と建て前』	64
『山車（だし）』	53	『根回し』	64
『寺（お寺）』	54	『上座と下座』	65
『通夜』〈平12・平14年〉	54	『ジャパニーズ・スマイル』	65
『香典』	55	『「謙譲」を尊ぶ』日本社会	66
『法事』	55		

〔4〕 伝統芸能

『能（能楽）』	67	『漫才』	72
『狂言』	67	『落語』	73
『文楽（人形浄瑠璃）』	68	『茶道』	74
『黒衣／黒子（くろご）』	68	『一期一会』	74
『歌舞伎』	69	『家元』	75
『花道（はなみち）』	69	『生け花（華道）』	76
『千秋楽（千穉楽）』〈平16年〉	70	『日本舞踊』	76
『女形／女方』	70	『三味線』	77
『雅楽』	71	『書道』	78
『寄席』	72	『香道』	79

〔5〕 文芸・工芸・カルチャー

『俳句』〈平7年〉	80	『熊手』	90
『仮名（かな）』	80	『羽子板』	91
『敬語』	81	『和紙』	91
『文庫本』〈平16年〉	82	『折り紙』	92
『芥川賞』〈平28年〉	83	『西陣織』	92
『短歌（和歌）』	84	『風呂敷』	93
『百人一首』〈平30年〉	84	『友禅染』	93
『演歌』	85	『風鈴』	94
『浮世絵』	86	『根付』	94
『盆栽』	86	『漆器』	95
『箱庭』	87	『日本のアニメ』	96
『七宝焼』	87	『コスプレ（コスチュームプレイ）』	96
『招き猫』	88	『宮大工』	97
『だるま』	88	『海女（海士）』	98
『福助人形』	89	『川柳』	99
『こけし』	90		

〔6〕 食文化

『納豆』〈昭61・平7年〉	100	『すきやき（鋤焼き）』〈平2年〉	101
『かまぼこ（蒲鉾）』〈昭61年〉	100	『コロッケ』〈平6年〉	102

『うどん』〈平9年〉	102	『駅弁』	120
『煮魚』〈平17年〉	103	『赤飯』〈平20年〉	121
『天ぷら』	103	『尾頭付き（鯛の尾頭付き）』	121
『親子丼』〈平21年〉	104	『ちらし寿司』	122
『カツ丼』	104	『甘酒』	123
『日本そば』	105	『麦茶』〈平19年〉	124
『釜飯』	105	『日本茶』	124
『蒲焼き』	106	『焼酎』〈平4年〉	125
『茶碗蒸し』	106	『清酒（日本酒）』	125
『おでん』	107	『せんべい（煎餅）』〈昭61年〉	126
『焼き鳥』	107	『もち（餅）』	126
『お好み焼』	108	『和菓子』	127
『豚汁』	108	『おはぎ（お萩）』	127
『たこ焼き』	109	『汁粉（おしるこ）』	128
『肉じゃが』	109	『かき氷』	128
『茶漬け』	110	『金太郎飴』〈平28年〉	129
『いなり寿司（稲荷寿司）』	110	『ところてん』	130
『雑炊』	111	『出前』〈平6年〉	131
『そうめん』	112	『宅食』	131
『オムライス』	112	『立ち食い』	132
『ナポリタン』	113	『ファミリーレストラン』	132
『わんこそば（椀子そば）』〈平30年〉	114	『回転寿司』	133
『熟れ寿司（熟れ鮓）』	115	『井物（どんぶりもの）』	133
『梅干し』〈平18年〉	116	『ボトルキープ』〈平15年〉	134
『海苔』	116	『おしぼり』	134
『佃煮』	117	『居酒屋』	135
『漬け物』	117	『料亭』	136
『（料理の）薬味』〈平28年〉	118	『懐石料理』	136
『わさび』	118	『精進料理』	137
『塩こうじ』	119	『ビアガーデン』	138
『幕の内弁当』〈平11年〉	120	『B級グルメ』	139

〔7〕 住生活

『床の間』〈平3年〉	140	『たたみ（畳）』〈平9年〉	140
------------	-----	---------------	-----

※日本文化用語解釈編のサンプルです。

『正座』	141	『のれん (暖簾)』	146
『座布団』	141	『すだれ (簾)』	147
『靴を脱ぐ習慣』	142	『枯山水』	147
『こたつ』	142	『鹿威し』	148
『掘りごたつ』〈平29年〉	143	『合掌造り』	149
『障子』	144	『銭湯』	150
『ふすま (襖)』	144	『こけら落とし』	151
『屏風』	145		

〔8〕衣生活

『和服』〈平8年〉	152	『軍手』〈平20年〉	156
『簪 (かんざし)』	152	『法被』	156
『浴衣』	153	『地下足袋』	157
『足袋』	153	『鉢巻き』	158
『草履』	154	『衣替え』	158
『下駄』	154	『クールビズ』	159
『十二単』	155		

〔9〕風俗・生活習慣

『実印』〈平13年〉	160	『三三九度』	167
『印鑑』	160	『粗品』	168
『家紋』	161	『千羽鶴』	168
『松竹梅』	161	『寄せ書き』	169
日本の『お金を贈る習慣』	162	『胴上げ』	170
『のし (熨斗)』	162	『手締め』	170
『水引』	163	『朝礼』	171
日本の『結婚式事情』	164	『割り勘』	171
『結納』	164	『福袋』〈平24年〉	172
『見合い (お見合い)』	165	『忌みことば』	173
『引出物』	166	『盛り塩』	173
『角隠し』	166	『てるてる坊主』	174

〔10〕スポーツ・娯楽

『大相撲』〈昭60年〉	175	『プロ野球』〈平8年〉	176
-------------	-----	-------------	-----

※日本文化用語解釈編のサンプルです。

『高校野球』	176	『いろはガルト』	181
『柔道』	177	『福笑い』	182
『合気道』	177	『けん玉』	182
『剣道』	178	『だるま落とし』	183
『駅伝』	178	『将棋』	183
『箱根駅伝』〈平27年〉	179	『パチンコ』	184
『ゲートボール』	180	『麻雀』	184
『しりとり』〈平22年〉	180	『花札』	185
『じゃんけん』〈平8年〉	181		

〔11〕 観光・旅行

『富士山』	186	『カプセルホテル』	192
『温泉』	186	『プレイガイド』	192
『スーパー銭湯』〈平28年〉	187	『道の駅』	193
『舞妓と芸者（芸妓）』	188	『ゆるキャラ』〈平30年〉	194
『女将』	189	『スタンプラリー』	195
『日本旅館』	190	『バスガイド』	196
『民宿』	191	『卒業旅行』	196
『ビジネスホテル』	191	『修学旅行』	197

〔12〕 現代社会

『学習塾』〈平11年〉	198	『老老介護』〈平21年〉	205
『予備校』	198	『無縁社会』〈平23年〉	206
『待機児童』	199	『生活保護制度』	206
『給食（学校給食）』	200	『身元保証人』	207
『分別収集』〈平14年〉	200	『メタボ健診』〈平22年〉	208
『町内会』	201	日本の『医薬分業制』	209
『交番』	201	『国民健康保険（制度）』	209
『私鉄』〈平15年〉	202	『サービス残業』	210
『ワンマンカー』〈平16年〉	202	『過労死』	210
『女性専用車両』	203	『花粉症』	211
『点字ブロック』	203	『五月病』〈平25年〉	212
『ホスピス』〈平17年〉	204	『風評被害』〈平24年〉	213
『終活』	204	『ハッピーマンデー』〈平28年〉	214

※日本文化用語解釈編のサンプルです。

『大型連休』	215	『ワイドショー』	219
『自動販売機』	215	『クーリング・オフ制度』	220
『駅ナカ』〈平25年〉	216	『過払金』	220
『デパ地下』	217	『天下り』	221
『百円ショップ』	218	『ふるさと納税』〈平30年〉	222
『カルチャーセンター』	218	『婚活』	223
『マンガ喫茶』	219	『女子会』	224

〔13〕 歴史

『古墳』	225	『参勤交代』	228
『忍者』	226	『東海道五十三次』	229
『風林火山』	226	『鎖国』	230
『忠臣蔵』	227	『黒船』	231

◇日本語索引	232
--------	-----

※項目中の〈 〉はガイド試験（筆記試験）での出題年度を表します。

※解答例のピンイン表記はすべて小文字にしてあります。

※実践中国語作文 日本文化用語対策編のサンプルです。

— 実践中国語作文問題集 —
日本文化用語解釈編



〔2〕季節行事・祭祀

*【春】（3～5月）

■2-1. 『ひな祭り』について中国語で説明しなさい。〈平27年〉

参考例文 —

- ◎ 3月3日の「ひな祭り」は「桃の節句」ともいい、女の子のいる家庭では娘の幸せを祈願し、ひな壇を設置して雛人形を飾り、菱餅、白酒、桃の花などを供えて祝います。学校や幼稚園などでも行う国民的な行事です。



解答例；“女儿节 / 桃花节 / 偶人节”
nǚ'érjié tāohuājié ǒurénjié

- a 指的是在三月三日，日本的“女儿节”也叫做“桃花节”、“偶人节”，生有女儿的家庭为了祈愿自家姑娘能过上幸福的一生，搭设架台，摆设各种有象征吉祥的人偶，以及菱型粘糕、白甜酒、桃花作为供品。在中小学、幼儿园等也举办，是国民性活动。

■2-2. 『お水取り』について中国語で説明しなさい。

参考例文 —

- ◎ 「お水取り」は東大寺の二月堂の年中行事で、3月13日の未明に仏陀に捧げる水のくみ取りが寺の井戸で行われます。その水を飲めば万病が治るといわれています。また、3月の1日から14日までの夜、僧たちによって厄除けにもなる松明が欄干越しに突き出されます。奈良では、そうした水と火と仏教儀式の終わりが春の訪れを告げます。

解答例；“汲水仪式”
jíshuǐ yíshì

- a 汲水仪式是指在东大寺二月堂举行了的一种仪式，3月13日清晨为了佛陀供水而在寺内水井旁举行汲水仪式。据说，喝了那种水可以治百病。同时，从3月1日到14日，每天晚上，僧侣们为了除邪避灾而把火把伸到栏杆外。在奈良，这样的水、火和佛教仪式的结束宣告春天的到来。
- b 汲水的仪式是在东大寺二月堂举行的每年定例仪式。在三月十三日

凌晨掬取清水奉献给佛陀(=释迦牟尼)时,把水运到佛前的仪式。喝到这种水的话,听说能治百病。在奈良地区,汲水仪式是每年春天来临时的风景诗。

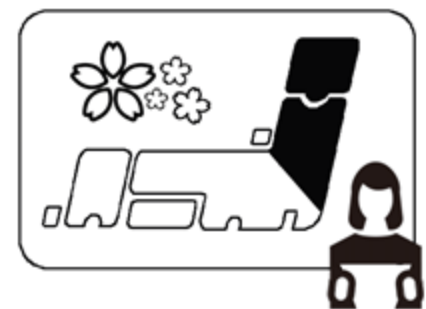
■2-3. 『桜前線』^{さくらぜんせん}について中国語で説明しなさい。〈平26年〉

参考例文 —

- (a) 桜前線は、日本各地の桜（主にソメイヨシノ）の開花予想日を結んだ線のこと。通常、3月頃より、九州地方で桜前線の発表が始まり、季節の進行につれて南から北へ、低地から高地へと順次移動し、北海道にたどり着いて終わる。現在は、気象庁の観測を基にして民間の気象業者が発表している。桜が好きな日本人には、春の桜前線の予報は欠かせない情報である。
- (b) 桜前線は、春に日本各地の桜の開花予想日を結んだ線のことです。例年3月頃より発表が始まり、季節の進行につれて南から北へ順次移行していきます。日本列島は南北に長いので、桜の開花が季節の進行につれて南から北へ順次移行していく様子を、天気図の前線の動きに例えたのです。

yīnghuā kāihuā qiánxiàn
解答例；“ 桜花 开花 前线 ”

- a 桜花开花前线是指把预测日本各地樱花（特别指染井吉野樱花）的开花日期连接在一起的一条线。三月左右，在九州地区开始发布樱花开花前线日期，随季节推移，从南向北、从低向高地逐渐前移，结束于北海道。现在是民间（=私营）气象人员基于气象厅的观测而发表。对于喜欢樱花的日本人来说，春天天气预报的樱花开花前线是必不可少的信息。
- b 樱花开花前线是指春天预测日本各地樱花开放日的线。每年三月开始发布，随季节推移，由南向北移动。因为日本列岛南北长，所以樱花的开花期也随着季节的变化，由南向北移动，就像天气图的锋面变化一样。



■5-4. 『文庫本』^{ぶんこぼん}について中国語で説明しなさい。〈平16年〉

参考例文 —

- (a) 読書や携帯に便利のように、再販した書籍などを小型サイズにした書籍のことで、安価にどこでも読書を楽しめます。日本では電車の中で、サラリーマンや学生などが文庫本で読書しているのをよくみかけます。
- (b) 安価で普及を目的とした、縦約15センチ、横約10センチの小型本のことです。主に名著や普及が見込まれる書籍が、文庫本として出版されたり、再販されたりします。新刊の単行本に比べ、表紙や装丁なども簡素で、値段も半額以下です。

解答例；“ xiǎoxíngpíngzhuāngshū 小型平装书 / xiǎoxíngshū 小型书 / xiùzhēnběn 袖珍本 ”

- a 是指出版社为读者阅读携带方便而将重版书籍缩小到袖珍本。价格便宜，适于在各种地方阅读。日本的电车里常可以看到阅读袖珍本的工薪人员、大学生等。
- b 小型平装书是指以降低成本和普及为目的的，纵约15公分、横约10公分的小型书籍。往往是将名著或预想会畅销的书籍以小型书型式出版，或者再销售。比起新出版的单行本书，封面和装订等较为简单，价格也降低一半以下。



■5-5. 『芥川賞』^{あくたがわしやう}について中国語で説明しなさい。〈平26年〉

参考例文 —

- (a) 芥川賞は、純文学の新人作家に与えられる文学賞で、年2回選ばれる。
(大正時代の)作家芥川龍之介の業績を記念し、1935年に創設された。日本文学振興会によって授賞され、文壇への登竜門とされる。作家の新人賞としては、直木賞(大衆文学の賞)と並び日本で最も権威があり、近年では受賞作品がベストセラーとなっている。主な受賞者は、大江健三郎、井上靖、石原慎太郎、村上龍など。
- (b) 芥川賞は、大正時代の作家芥川龍之介の業績を記念し、1935年に文藝春秋社の菊池寛が創設した文学賞。毎年2回、優れた純文学の作品を発表した新人作家に贈られる。作家に与えられる新人賞としては、直木賞(大衆文学の賞)と並び日本で最も権威のある文学賞で、近年では受賞作品がベストセラーとなっている。過去の主な受賞者には、大江健三郎や、井上靖、石原慎太郎、村上龍などがいる。

解答例 ; “^{jièchuānjiǎng}芥川奖”

- a 芥川奖是授与纯文学新人作家的文学奖，每年二次，为纪念（大正时代的日本）作家芥川龙之介，于1935年创设此奖。由日本文学振兴会颁发，被认为是文坛的“登龙门”。作为授与作家的新人奖，与直木奖（大众文学奖）驰名，并列为日本最具权威的文学奖。近年来其获奖作品纷纷上榜，曾获此奖的主要作家有：大江健三郎、井上靖、石原慎太郎、村上龙等。
- b 为了纪念大正时代的作家芥川龙之介做出的业绩，文艺春秋杂志社的菊池宽先生于1935年创立的一个文学奖，一年评选两次。此奖颁发给发表优秀文学性作品的无名作家，作为表彰作家的新秀奖与直木奖（大众文学奖）一起成为日本最有权威的文学奖。近年来的获奖作品大都成为畅销书。过去的主要得奖者有大江健三郎、井上靖、石原慎太郎、村上龙等等。



〔6〕食文化

■6-1. 『納豆』について中国語で説明しなさい。〈昭61・平7年〉

参考例文 —

- ◎ 大豆を煮て、わらなどで包んで発酵させて作った日本独特の食品です。粘り気があり、ビタミンやタンパク質が豊富です。卵の黄身やカラシ、醤油などと混ぜ合わせて食べます。茨城県水戸の名産ですが、全国的に食べられるようになりました。



解答例；“^{nādòu}納豆”

- a 大豆煮后，包在稻草里发酵[jiào]，能分泌[mì]粘液。维他命和蛋白质丰富，是日本独特的食品之一。吃时，加蛋黄、芥末、酱油等搅拌，味道可口。是茨城县水户的名产。现在普及全国。

■6-2. 『かまぼこ（蒲鉾）』について中国語で説明しなさい。〈昭61年〉

参考例文 —

- (a) 「かまぼこ」は、板きれに載せて形を半月形（半円筒形）に整えて蒸した、魚のすり身の事です。日本ではお祝い事などで紅白のかまぼこを食べる習慣があります。
- (b) 「かまぼこ」は日本古来の代表的な水産加工品です。白身の魚肉をすりつぶして味をつけ、練りあげた後、長方形の小さな板に半月形に塗って蒸し上げた食品です。日本ではお祝い事があると、紅白のかまぼこを買って食べる場合があります。



解答例；“^{yúgāo}鱼糕”

- a 把鱼肉放在小木板块上做成半月筒形后放蒸锅蒸熟，在日本喜庆等时有吃红白鱼糕的习惯。
- b 鱼糕，也叫鱼丸条。把鱼肉榨成肉浆，加上芡粉、佐料、盐搅拌之、放在小木板上蒸熟，就成为甜味可口的食品。在日本有喜庆，就买彩色的鱼糕来尝味，几乎是食桌上不可缺的食品。

■6-8. 『親子丼』^{おや どん}について中国語で説明しなさい。〈平21年〉

参考例文 —

- ◎ 親子丼は、鶏肉、ネギ(玉ネギ)などを出し汁で煮て、溶き卵でとじて、どんぶりご飯の上にかけて作ります。鶏肉と卵を具材に使うことから名付けられました。日本では明治の中ごろに考案され、今では代表的な庶民料理の一つです。



解答例 ; “^{jīròu gāifàn} 鸡肉盖饭 / ^{mǔzǐ gāifàn} 母子盖饭”

- a 母子盖饭是把鸡肉、葱等在汤汁里煮好后加鸡蛋汁，最后盛在大碗米饭上。因用鸡肉和鸡蛋而被命名。在日本，明治时代中期出现，现在是有代表性的家常菜之一。
- b 母子盖饭是用鸡肉、洋葱等在汤汁里煮出来，淋上打好的鸡蛋，浇在大碗米饭上的日本料理。母子盖饭的名称来自于使用鸡肉和鸡蛋作食材的缘故。始自明治中期，如今是具代表性的大众料理之一。

■6-9. 『カツ丼』^{どん}について中国語で説明しなさい。

参考例文 —

- ◎ カツ丼は、日本では庶民的な料理として親しまれています。作り方は、豚肉の肉片に小麦粉、とき卵、パン粉をつけて揚げた“トンカツ”を、玉ねぎなどの具を加えて、醤油・お酒・砂糖等を加えた出し汁で甘辛く煮て鶏卵でとじ、どんぶり飯の上に汁ごとかけて作ります。



解答例 ; “^{zhà ròu gāifàn} 炸肉盖饭 / ^{zhà zhūpáigāifàn} 炸猪排盖饭”

- a 炸肉盖饭在日本做为家常菜很受欢迎。作法是，把猪肉，涂上蛋汁、面粉、面包渣，炸成猪排后，加上圆葱及酱油、料酒、砂糖等，味道甜咸合适，最后浇上鸡蛋汁后，连汤汁一起扣在米饭上。
- b 炸肉盖饭是日本的家常便饭之一，很受一般人的欢迎。作法是用猪肉、沾在蛋汁、面粉、面包屑(粉)、炸成肉排后，加上切成丝的葱头等杂菜粉汤、酱油、料酒、砂糖、鸡蛋等煮成的菜，然后浇在大碗里的大米饭上的猪肉炸排上，甜咸合适的饭菜，非常好吃。

〔9〕風俗・生活習慣

■9-1. 『実印』^{じついん}について中国語で説明しなさい。〈平13年〉

参考例文 —

- ◎ あらかじめ居住地の市町村長に登録し、必要に応じて印鑑証明の交付を求めることのできる印章のことです。公的文書や契約書などで、本人の意思確認や本人に間違いなことを証明する時に使います。

解答例；“^{shíyìn}实印”

- a 居民事先向市长、町长、村长申请登记好印章，这种做证明用的图章叫做“实印”。政府机关单位、银行存折、交易买卖时，一定要用实印，能证明其本人无误。
- b 居民事先向市町村公所登记印章，这种图章叫“实印”。盖上这种实印的证明叫印鉴证明。使用实印时，可以在文件或证件上盖章，证明确实是他本人无错。

■9-2. 『印鑑』^{いんかん}について中国語で説明しなさい。

参考例文 —

- ◎ 役所、銀行、その他取引先などに届けてあるはんこや実印のこと。書いた文書が本人に間違いなことを証明する時などに用いる。



解答例；“^{yìnzhāng}印章 / ^{túzhāng}图章”

- a 政府机关，银行或者客户等提出什么文件，申请书都要盖上确认的图章、正式印章。证明写的文章的确是他自己写的就应该使用这个图章（实印）。还有一种叫“三文判”是便印的意思。如挂号信来了就盖上便印，法律上不生效。
- b 证明上使用的实印。向政府机关单位，银行存折，交易买卖时，一定要实印。在文件或证件上签名盖章，证明确实是他本人无错。这是东洋文化思想的副产品，欧美各国只是签字就行。

■9-21. 『福袋』^{ふくぶくろ}について中国語で説明しなさい。〈平24年〉

参考例文 —

- ◎ 福袋は、一般に商店で正月に複数の異なる商品を袋に詰めて、通常より低価格で売っている袋詰め商品のことです。封がしてあって、中に何が入っているかは開けてからの楽しみです。近年では、ブランド品や高価な福袋では中身が確認できたり、自動車、旅行、マンションの権利などの福袋もあります。新年に多くの人々が福袋を求めて列に並ぶ様子は、正月の風物詩となっています。

解答例；“福来包^{fúláibāo} / 福袋^{fúdài}”

- a 福来包是指在年初商店把各种商品装在袋里，比平时价廉出售的（一种混装）商品袋。因封口而期待打开时的惊喜。近年来，名牌用品等装有高价物品的福来包可以购买之前确认内容，还有内含轿车、旅行、公寓等权利的福来包。新年很多人排着长龙购买福来包是日本正月的一道风景诗。
- b 福来包：一般是商店在新年时把几种不同的商品装在一个袋子里，比平常低很多的价格向客人出售。因为袋子口是被封死的，只有打开袋子才能知道里面装的是什么。近年来，名牌商品或者价格高的福来包可以确认袋子里装的是什么的。此外还有小汽车、旅行、公寓所有权等的福来包。新年，很多人为了买福来包排成长队，这也成为日本新年的一道风景线。



〔12〕 現代社会

■ 12-1. 『^{がくしゅうじゆく}学習塾』について中国語で説明しなさい。〈平11年〉

参考例文 —

- (a) 進学のための補習教室のことです。学校の補習や、教科学習の予習・復習、入学試験準備などを行います。塾の教師は経験もあり、学力が上げるだけでなく、進学率も高めます。子どもを小学生の頃から学習塾に通わせる親が増えています。
- (b) 学校教育の補習や、教科学習の予習・復習、入学試験準備のための学習を指導する私設の教育機関のことです。日本では、わが子を有名大学に入学させるため、幼児や小学生のうちから学習塾に通わせる親が多くなっています。

解答例；“^{bǔxí xuéxiào}补习学校 / ^{shēngxué bǔxíbān}升学补习班”

- a 就是升学补习班。为了加强学校各学科的复习、预习，充实学力，再进一步做升学的准备。这里的教师经验丰富，既能提高学习能力，升学率又好。让孩子从小学生时代就进入补习班的风气很盛。
- b 做为学校教育的补充，为指导各学科的预习、复习，及准备升学考试而私设的教育机关。在日本，很多父母为了能使自己的子女考上名牌大学而让他们从幼儿或小学时就去这种补习学校。

■ 12-2. 『^{よびこう}予備校』について中国語で説明しなさい。

参考例文 —

- ◎ 日本では、大学進学希望者を対象に、入試のための指導をする学校のことを予備校と言います。予備校では、学生の学力を上げ、希望の大学や短大へ入学できるよう指導しています。生徒の多くは、一回以上入試に失敗した高卒の学生ですが、最近は入学競争が激しくなっているため、高校在学中から予備校へ通う学生もいます。

解答例；“^{yùbèixiào}预备校 / ^{yùbèixuéxiào}预备学校 / ^{bǔxí xuéxiào}补习学校”

- a 在日本，是指以希望考进大学的人为对象，辅导其考试内容的学校。在这里，……

■12-8. 『私鉄』^{してつ}について中国語で説明しなさい。〈平15年〉

参考例文 —

- ◎ 民間会社経営の私有鉄道のことです。本来は旧国鉄（日本国有鉄道）に対し、その他の鉄道を「私鉄」と言いました。1987年に旧国鉄が民営化され、現在のJ R各社に分割されましたが、現在でも、「私鉄」と言う場合は、J R各社と地下鉄を除く私有鉄道のことを指します。

解答例；“私营铁路”
sīyíng tiělù

- a “私鉄”是指民间企业经营的铁路，本来是为区别于旧日本国营铁路而把其它的铁路称之为“私鉄”。1987年国鉄民営化，并分为现在的J R各公司，所以现在所说的“私鉄”也是指除J R及地铁之外的私营铁路。



■12-9. 『ワンマンカー』について中国語で説明しなさい。〈平16年〉

参考例文 —

- (a) ワンマンカーは、乗務員が一人で運転や改札業務をこなしているバスなどのことで、人件費などを節約できます。乗客は前のドアから乗って運賃を支払い、後部ドアから降りますが、逆の場合もあります。
- (b) 運転手のほかに、乗務員のいないバスや電車のことです。ワンマン式バスでは、運転手が車掌の業務も兼ねて、ドアの開閉や車内アナウンス、乗車券のチェックや販売なども管理しています。日本では、経費削減や人員不足のため、路線バスのほとんどがワンマン式であり、また地方には、ワンマン式の電車も多いです。

解答例；“单人车 / 单人行驶 公交车”
dānrénchē dānrénxíngshìgōngjiāochē

- a 单人车是指由一个人负责公交车的驾驶、收检票工作的情况，可以节省人力、物力。乘客由前门上车付钱，由后门下车，也有相反情况。
- b 指除司机外没有乘务员的公共汽车或电车。在单人式的公共汽车上，司机也兼做乘务员的工作。管理车门的开闭、车内(报站)广播、查票、卖票等等。在日本，为了降低费用和克服人手不足问题，公共汽车几乎都是单人车式，另外在一些地区单人式的电车也不少。



◇日本語索引

[あ]

合気道	177
芥川賞〈平26年〉	83
暑さ寒さも彼岸まで	10
アニメ	96
海女(海士)	98
天下り	221
甘酒	123
家元	75
生け花	76
居酒屋	135
一期一会	74
いなり寿司(稻荷寿司)	110
忌みことば	173
医薬分業制	209
いろはガルト	181
印鑑	160
浮世絵	86
歌会始	37
打ち水〈平12年〉	17
うどん〈平9年〉	102
海開き〈平12年〉	15
梅干し〈平18年〉	116
運動会	22
駅伝	178
駅ナカ〈平25年〉	216
駅弁	120
恵方巻き	40
絵馬	50
演歌	85
縁日	52
園遊会	23

大型連休	215
大相撲〈昭60年〉	175
大掃除	28
大晦日	29
尾頭付き	121
お金を贈る習慣	162
女将	189
お好み焼	108
おしぼり	134
おしるこ	128
お歳暮〈平19年〉	26
お節料理	34
お中元〈平7年〉	15
お寺	54
おでん	107
お年玉	33
鬼	62
おはぎ(お萩)	127
お百度参り	60
お遍路	61
お盆	18
お見合い	165
おみくじ〈平23年〉	50
お神輿	52
お水取り	8
お宮参り	59
オムライス	112
親子丼〈平21年〉	104
折り紙	92
温泉	186
女形/女方	70

[か]

懐石料理	136
回転寿司	133
雅楽	71
鏡開き	38
鏡餅	32
かき氷	128
書き初め〈昭60・平29年〉	36
学園祭	22
学習塾〈平11年〉	198
柏餅	12
学校給食	200
合掌造り	149
カツ丼	104
華道	76
門松	32
仮名(かな)	80
蒲焼き	106
過払金	220
歌舞伎	69
カプセルホテル	192
花粉症	211
かまぼこ(蒲鉾)〈昭61年〉	100
釜飯	105
上座と下座	65
神棚	49
家紋	161
カルチャーセンター	218
枯山水	147
過労死	210
簪(かんざし)	152
祇園祭	17
菊人形	24